

ソレイタ D グラス™

すりガラス調フィルム

FD-W1001

## ■製品特性

サイズ : 1000mm×20m、1200mm×20m  
フィルム全厚 : 195μm  
基 材 : トウメイマツPVCフィルム  
剥離紙 : 両面PEコート紙  
コ ア : 3インチ  
日射 : (反射) 7% (透過) 78% (吸収) 15%  
可視光線 : (透過) 84%  
紫外線 : (透過) 5.8%  
ハードコート : 無

- ・透明フロートガラス(3mm厚)にフィルムを貼って測定しています。
- ・測定方法はJIS A 5759に基づいています。
- ・上記は当社試験結果に基づく測定値であり、保証値ではありません。

## ■特徴

すりガラス調のガラス装飾シート。  
明るい光を確保しつつ、目隠しされた落ち着いた落ち着きのある空間を演出可能。

## ■製品の取扱・保管

- ・保管は、高温・低温・多湿や直射日光を避け、必ず紙管に巻いた状態で宙吊りにし、風通しの良い冷暗所で保管してください。
- ・購入後は半年以内にご使用ください。  
また開封後は3ヶ月以内を目安に、できるだけ早めにご使用ください。
- ・至近距離からの蛍光灯照射などは避けてください。
- ・低温、高温条件下では、粘着力、保持力が低下し剥がれやすくなります。  
推奨環境 : 温度15~25℃、湿度70%RH以下
- ・水分、薬品などがつかないようにし、衝撃は避けてください。
- ・フィルム端部の傷、折れ、汚れを招く恐れがありますので横置きで保管してください

## ■ご使用に際しての注意事項

- ・本製品は室内貼り専用フィルムです。また、被着体もガラスに限ります。凹凸のある面、サウナ・プール等の環境、反射ガラス被膜面ではご使用いただけません。
- ・フィルムの端部にて、手を切る恐れがありますので、ご注意ください。
- ・製品ロットにより色調などの外観が異なる場合がありますので、隣接して使用する場合は同一ロット品をご使用ください。
- ・窓ガラスにウィンドウ用フィルムを貼ると、ガラスの温度が上昇し、割れることがあります。施工前に、ガラスの「熱割れ」が発生する可能性がないことを必ずご確認ください。
- ・結露防止のため、十分温湿度に馴染ませてから開梱してください。

## ■施工時の注意事項

- ・貼付け推奨温度は、10～30℃としています。冬季の施工ではフィルムからの水抜け性や施工後に誤ってフィルムがずれてしまうことを考慮し、最低でも5℃以上の環境で施工してください。また、結露などが生じる箇所には推奨できません。
- ・施工液には必ず中性洗剤を使用してください。それ以外の洗剤は粘着剤を変色させる可能性があります。
- ・ゴミ、汚れなどの異物、付着物を除去されたガラス表面に施工してください。異常物による不具合が生じる可能性があります。
- ・マスキングテープを使用する場合は、弱粘着タイプの粘着テープを使用してください。フィルムを傷めないために、マスキングテープは1時間以内に剥がし、剥がす際は製品の剥がれ、折れ、粘着テープの糊残りを避けるために、ゆっくり丁寧に剥がしてください。ご使用される粘着テープについては、使用前に不具合を生じさせないことを、予めお試しください。
- ・つなぎ合わせ施工を行う際は、同一ロールを使用してください。また、僅かな色むら・蒸着むらがありますので、同一ロールでも隣合わせになるフィルムは同一エッジに合わせて施工してください。
- ・フィルム端部に水が残っているとフィルムが浮いてくる原因になる可能性がありますので、エッジ部分はしっかりと圧着し、確実に水を抜き拭き取ってください。
- ・養生期間中はフィルム表面に手を触れないでください。
- ・施工完了後、ガラスとフィルムの上に僅かに残った施工液が水泡として現れたり、フィルム面が一時白濁することがあります。この現象は水分が水蒸気化して徐々に抜けてきれいになります。日当たりの悪い場所、気温の低い場所、多湿の場合などはある程度日数がかかることがあります。
- ・フィルムの表面はガラス面と比べて非常に傷つきやすくなっていますので、硬い物や尖ったものを当てないようにしてください。
- ・タバコの火、その他の高温の熱源を近づけないでください。
- ・フィルムの表面にセロハンテープを貼り付けたり、マーキングフィルムなど粘着剤を使用したものを貼り付けしないでください。
- ・フィルム表面に汚れを付着させたままにするとフィルムの劣化が早くなります。また、汚れによって反射率などの性能が低下しますので、フィルムの性能を維持するため、定期的に清掃を行ってください。
- ・清掃は柔らかい布を使用して水拭きしてください。汚れがひどい場合は、中性洗剤を汚れの程度に応じて使用してください。また、中性洗剤を使用したときは、洗剤が残らないように十分に水拭きしてください。
- ・乾拭きは避け、水拭きはフィルムの表面を一方方向に拭く様にしてください。
- ・アルカリ性、酸性の洗剤及び有機溶剤などは、使用しないでください。
- ・クレンザー、硬い布、紙などフィルム面を傷つける恐れのあるものは使用しないでください。
- ・フィルム面に継ぎ目があるときは継ぎ目に沿って拭いてください。

## ■免責事項

以下の事項については責任を負いかねます。

- ・ ご使用方法やご使用環境に起因する不具合。
- ・ フィルムの施工工事以外の原因で発生した不具合。
- ・ 天災事変、事故、周囲環境などの不可抗力に起因する不具合。
- ・ 重ね貼りされたフィルムの不具合。
- ・ 通常のご使用環境下で生じた傷および色調変化などの経年劣化。
- ・ 人為的などの外部効力による不具合。
- ・ 印刷等の後加工を施したフィルムの不具合。
- ・ 有機溶剤、強アルカリ、強酸その他の薬品などによるフィルムの不具合。
- ・ 下地の影響（劣化、錆、結露等）によるフィルムの不具合。
- ・ フィルム自体の機能および性能。
- ・ フィルム施工後の熱割れ。

- \* 製品についてご不明な点などございましたら、お問い合わせください。
- \* 本書は、本製品に関する製品情報及び環境安全に関わる情報を提供するものであり、性能や品質を保証するものではありません。
- \* 製品の仕様および外観は改良のため予告なく変更させていただくことがあります。
- \* 使用者は使用に先立って製品が自己の用途に適合するか否かを判断し、それに伴う危険と責任も全て負うものとします。
- \* 売り主及び製造者の義務は不良であることが証明された製品を取り替えることだけであり、それ以外の責任はご容赦ください。
- \* 本書に記載されていない事項若しくは勧告は、売り主及び製造者の役員が署名した契約書によらない限りは当社は責任を負いません。



PLASTICS & BUILD MATERIALS

**藤田産業株式会社**

FUJITA INDUSTRY co.,Ltd.

初版 2016年 4月発行  
第1.2版 2017年 9月発行

製品仕様書 FD-W1001 3